

令和5年度 島根大学学位授与式（松江） 式辞

本日、島根県知事 丸山達也様を始め、県内定着奨学金としてご寄付頂きました企業の代表者や各学部の後援会会長様、同窓会会長様をご来賓に迎え、学部卒業生972名ならびに大学院修了生249名の皆様に学位を授与し、晴れの門出をお祝いできますことは、島根大学として大きな慶びとするところです。卒業生、修了生の皆様、おめでとうございます。

また、この日まで皆さんの成長を大きな期待を持って、支え見守って来られましたご家族や関係者に対しまして、本学教職員、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

さて、今年には元日に能登半島地震が発生し、甚大な被害が出るなど大変な年明けとなりました。あれから3か月が経とうとしていますが、依然として復旧の見通しが立たず、多くの方々が不自由な生活を強いられる厳しい状況が続いています。被災されました全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。復興が進み、一日も早く被災された皆様に日常が戻ることを願っています。

皆さんには、それぞれの夢や目的の実現を目指し、希望と期待を持って島根大学に入学されました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を強く受け、皆さんの学生生活は想定されていたものと異なるものとなってしまいました。4年前は急激な感染拡大により、入学式を急遽中止し、授業開始も一か月遅らせて5月の連休明けとなりました。さらに、感染予防の観点からキャンパスへの入構が制限され、殆どの授業は自宅で受講する遠隔授業となり、フィールド実習や課外活動等も制限されました。また、友人や教職員等との対面でのコミュニケーションも抑制されるなど、精神的にも大きな負荷がかかったかと思えます。過去に経験したことのない状況における学生生活では、様々な困難や課題があったと思います。皆さんはそれらの困難や課題に正面から向き合い、粘り強く努力を積み重ねることによって、解決してまいりました。さらに、その過程で精神的に逞しく成長されました。厳しい生活及び学習環境を乗り越え、本日、晴れて学位が授与されます皆さんを誇りに思います。

また、この度のコロナ禍においては、本学の同窓生や保護者、現職や退職された教職員はもとより、地域の方々など、本当に多くの皆様方から貴重なご支援を賜りました。皆さんには、様々にご支援頂きました方々への感謝の気持ちを忘れずに、新たな道を歩み始めて下さい。これからも幾多の困難があるかと思えますが、何事にも前向きに一歩一歩努力することを心がけてください。「天は自ら助くる者を助く」という古い諺があります。精一杯努力することによって、自ら道は拓けます。

近年、感染症の感染拡大、世界各地での地政学的事案、環境・エネルギー問題や食糧問題等の国際的課題、そして、国内では人口減少や少子高齢化等、私たちは社会の持続可能性が懸念される深刻な課題に直面しています。課題解決を目指してSDGsが提唱され、DXやGX等社会変革が始まっています。そして、我が国では第6期科学技術・イノベーション基本計画において「持続可能性と強靭性を備え、国民の安全性と安心を確保すると共に、一人一人が多様な幸せ(Well-being)を実現できる社会」の構築が明記されました。皆さんには、身に付けた専門性を駆使して社会変革の先導者として果敢に挑戦し、持続性が担保され、一人ひとりがよりよい生活ができる社会の実現にご貢献されることを期待しています。

さて、一昨年の ChatGPT の公表に世界中が衝撃を受けました。瞬く間に社会に浸透し、すでに半数以上の企業で生成 AI を活用しており、その活用範囲は研究・企画、マーケティングや営業等多岐にわたっているとの調査結果もあります。また、国内の大学生の約半分が生成 AI を使用したことがあり、3割が継続的に使用しているとの報道もありました。生成 AI は企画立案や生産性向上等、その利便性は言うまでもありません。一方で、学習するデータの偏在等により不正確なアウトプットをすることもあり、無批判に生成 AI が導いた解を受け入れることはリスクが伴います。さらに、個人情報の漏洩や著作権侵害のリスクもあり、活用するには十分な注意が必要です。その上で生成 AI の有効活用には、使用する私たちの「仮説や問いを立てる力」や「論理的に文章化する力」が重要と言われています。併せて生成 AI の活用には、企業や組織の業務に係る専門的知識をデジタル技術に応用する力も必要となるなど、今後は、より幅広い多様な領域を包含した新たな価値、知識とスキルが重要です。さらに、私たち自身が生成 AI のアウトプットの正当性を評価し、最終的な判断・決断をしなければなりません。私たちが正しい判断をするためには、社会の変化や環境を的確に把握し、判断基準となる自らの考えとそれを支える自己の確立が本質的に必要です。確固たる思考の基盤によって自らの考え・判断基準が確立されることにより、生成 AI に振り回されることなく、正当な判断・決断・行動ができます。思考の基盤は幅広く深い知識と多様な経験により得られる総合知です。皆さんには、在学中に培った学問的知識とスキルや実践力を基盤に、それらを恒常的にリスクリングすることによって、自らの「総合知」を高めながら生成 AI も駆使し、未来社会において末永くご活躍されることを期待しています。

島根大学は、悠久なる歴史や情緒あふれる文化と、豊かな自然が調和した島根の地にあり、島根県における文化と知の創造の中核として、人材育成、研究や診療に取り組んでいます。また、様々な地域貢献活動も行っています。近年は、先端金属素材を中心に、材料科学分野の研究、人材育成を重点的に強化し、今年度には材料エネルギー学部も設置しました。材料科学領域で世界に突出した教育・研究機関となり、高水準な研究成果を基盤とした産学官連携活動を行うことで地域産業の振興に貢献すると共に、その効果を全学に波及させることにより、島根大学の未来を切り拓いてまいります。

島根大学を卒業・修了される皆さんには、これからも島根県、そして、島根大学に関心を持ち続け、様々な形で関わって頂ければ幸いです。島根大学は各学部同窓会と共に、皆さんとの「縁」と「絆」を末永く大切にしていまいります。また、生涯にわたって主体的に学び、前向きに人生を歩まれる皆さんを、島根大学はリカレント教育等、様々な支援してまいります。

ご卒業、修了される皆さんの新たな門出と輝かしい前途を祝し、また、皆さんのこれからのご健勝と溍溍なるご活躍を心から祈念すると共に、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、式辞と致します。

令和 6 年 3 月 22 日

国立大学法人 島根大学

学長 服部 泰直